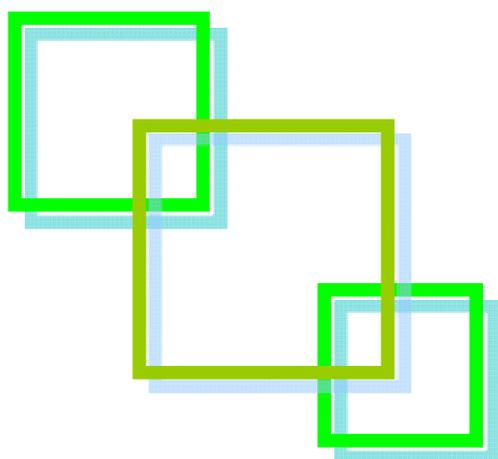


飯能市 地区別まちづくり計画

新しい時代への自立・
協働とイノベーションのまち



令和4～7年度

ごあいさつ

飯能市は、都心からの交通アクセスも良好な環境にありながら、緑と清流という自然に恵まれ、古くから豊かな森林と人との共生によって、人々の暮らしや文化・歴史、産業が育まれてきました。これらの特徴を生かして、第5次飯能市総合振興計画では「水と緑の交流拠点 森林文化都市はんのう」を将来都市像として掲げ、「市民とともに作る飯能市」をキャッチフレーズに、私の市政運営の基本姿勢である皆様との「対話」を通じたまちづくりに取り組んでいるところです。

各地区まちづくり推進委員会の皆様には、それぞれの地域の特色を生かして魅力ある地域づくりに取り組んでいただいております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大は未だに収束が見えず、地域での活動や集会等の開催が制限される中で、様々なご苦勞をされていることと存じます。そのような状況の中で、感染症拡大防止に十分配慮しながら、各地区の令和4年度から令和7年度までの4年間の行動指針である「飯能市地区別まちづくり計画」について見直しを行っていただきました。

今後は、この計画に基づき、コミュニティ活動を通して市民がまちづくりに自主的に取り組み、郷土への愛着と誇りを育んでいただけるよう、皆様と手を携えながら、取組を着実に進めてまいりたいと考えております。

結びに、本計画の策定にあたりましてご尽力をいただきました各地区のまちづくり推進委員会の皆様に心から感謝申し上げます。

令和4年4月

飯能市長 新井重治

目 次

飯 能地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	1
精 明地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	9
加治・美杉台地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	17
南高麗地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	25
吾 野地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	35
東吾野地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	43
原市場地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	53
名 栗地区まちづくり計画	・ ・ ・ ・ ・	61

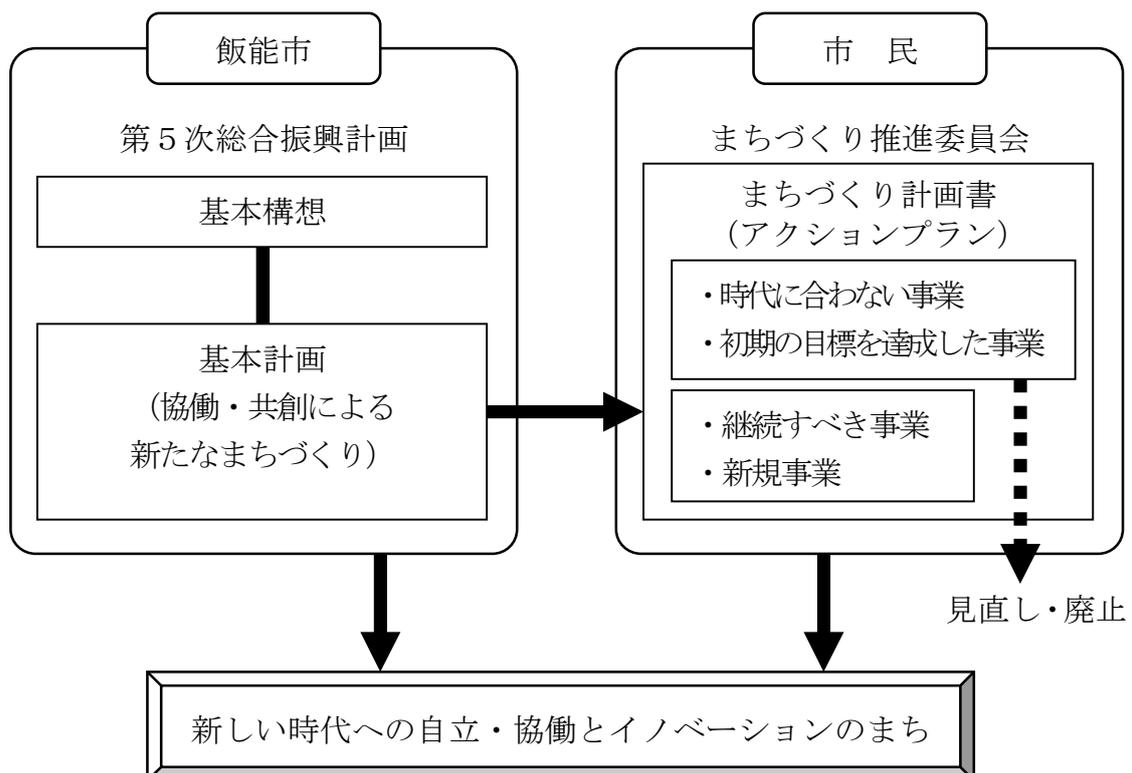
地区別まちづくり推進委員会

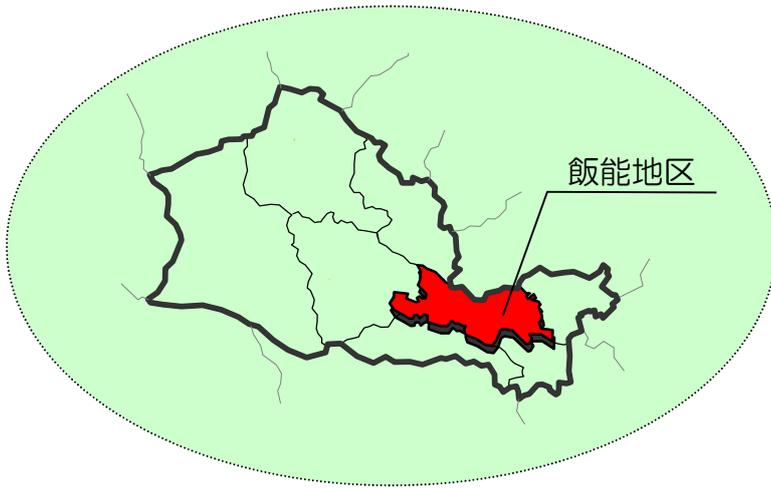
各地区まちづくり推進委員会は、第3次飯能市総合振興計画で地域コミュニティの形成を目指して平成9年度から発足し、現在では飯能、精明、加治・美杉台、南高麗、吾野、東吾野、原市場、名栗地区において、市内8地区で委員会が組織されています。

今回、令和4年度を初年度とする第5次飯能市総合振興計画の後期基本計画策定に合わせ、各地区まちづくり推進委員会においても、従来からの活動実績を踏まえ、時代や周辺環境の変化に対応した事業活動を展開するため、これまでの計画の見直しを行いました。新たな地区別まちづくり計画書を策定することで、より一層充実した地域コミュニティづくりを推進していきます。

●計画の期間

本計画の期間は、令和4年度から令和7年度までの4年間とします。





飯能地区



毎年恒例の「飯能河原 秋の水仙植樹会」の集合写真

飯能地区は、飯能市の玄関口である飯能駅と東飯能駅を起点とし、四季を通じ行楽やハイキングに人気の「天覧山・多峯主山・宮沢湖」や「清流の飯能河原・吾妻峡」など都心から1時間で訪れる事が出来る行楽のスポットを有し、市民も日々の散策で自然あふれる景観を楽しめる地域である。一方、歴史のある建物や蔵造り、また古くから営みを続ける様々な商店、数多くの路地・神社・仏閣が共存している市街地と西川材の山林を抱える山村風景もあり、豊かな自然と人々の生活が調和した魅力的な地区である。

活動実績

飯能地区まちづくり推進委員会は、コミュニティ団体の代表及び公募の会員 51 名で構成。当会の活動は、「市民及び来街者に飯能の魅力を伝える事により、より深く飯能に愛着を持ってもらえる活動」、並びに「飯能河原、天覧山等自然あふれる地域の環境整備活動」を軸に展開してきた。飯能の魅力を伝える活動では、平成 22 年度から 3 年半にわたり飯能駅改札前で市民並びに来街者を対象に「なんでも案内所」を開設し、地域の事なら「何でも」ご案内する活動を展開してきた。また案内活動で得られた来街者の声を分析し、来街者が飯能の何処に魅力を感じているのか等をデータ化し、市に観光事業の基礎情報として提供しつつ、飯能駅での観光案内所の必要性と設置要望をしてきた。また、案内にMAP等の情報ツールが必要となり「駅からMAPシリーズ」と称したイラストMAP3種類を作成・活用し、市民・来街者から好評を得てきた。平成 26 年 4 月ついに念願かなって駅前観光案内所「ぷらっと飯能」の開設の運びとなり、当会作成の「駅からMAP」も観光案内所に常備される事になった。当会は平成 26 年度から「魅力を伝える活動」では、「地域の魅力再発見の為の情報ツールづくり」に取り組み、駅からMAPシリーズ第4弾「飯能まちなか ワクワク歩いてみんべえ〜」、第5弾は第二区地区を対象に「清流と里山の歴史を訪ねて」を作成し、地域の魅力再発見と郷土愛の育成に繋げるべく子供の教育にかかわる組織・団体を中心に各 1 万部配布した。また、第二区地区対象のMAP第5弾に対応して、訪れる人がより快適に散策できるよう道標を 8 箇所設置した。「環境整備活動」では、平成 28 年度から継続して飯能河原で水仙を中心とした花木の植樹による環境整備活動に取り組んできた。地域コミュニティの活性化促進に向けては、毎年恒例の地域の子供達参加による秋の水仙植樹会&食事会、まちなか散策、陽だまりウォーキング、飯能河原BBQ、飯能河原水仙まつり等を実施してきた。

現状と課題

組織の強化・活性化を図るべく、当会発行の「まちづくり通信」や市の「広報はんのう」、「地区行政センターだより」等を通じて会員の募集を行うも、活動に参加できる市民ボランティアの応募は限られており、特に女性ボランティアの参加を促進するための働きかけが課題である。そのためには、地域住民の参加をより広く得られるような地域ぐるみの活動に取り組む必要がある。地域住民が触れ合える活動に軸を置き、魅力ある具体的企画を展開し、地域コミュニティの形成と発展に寄与することが求められる。

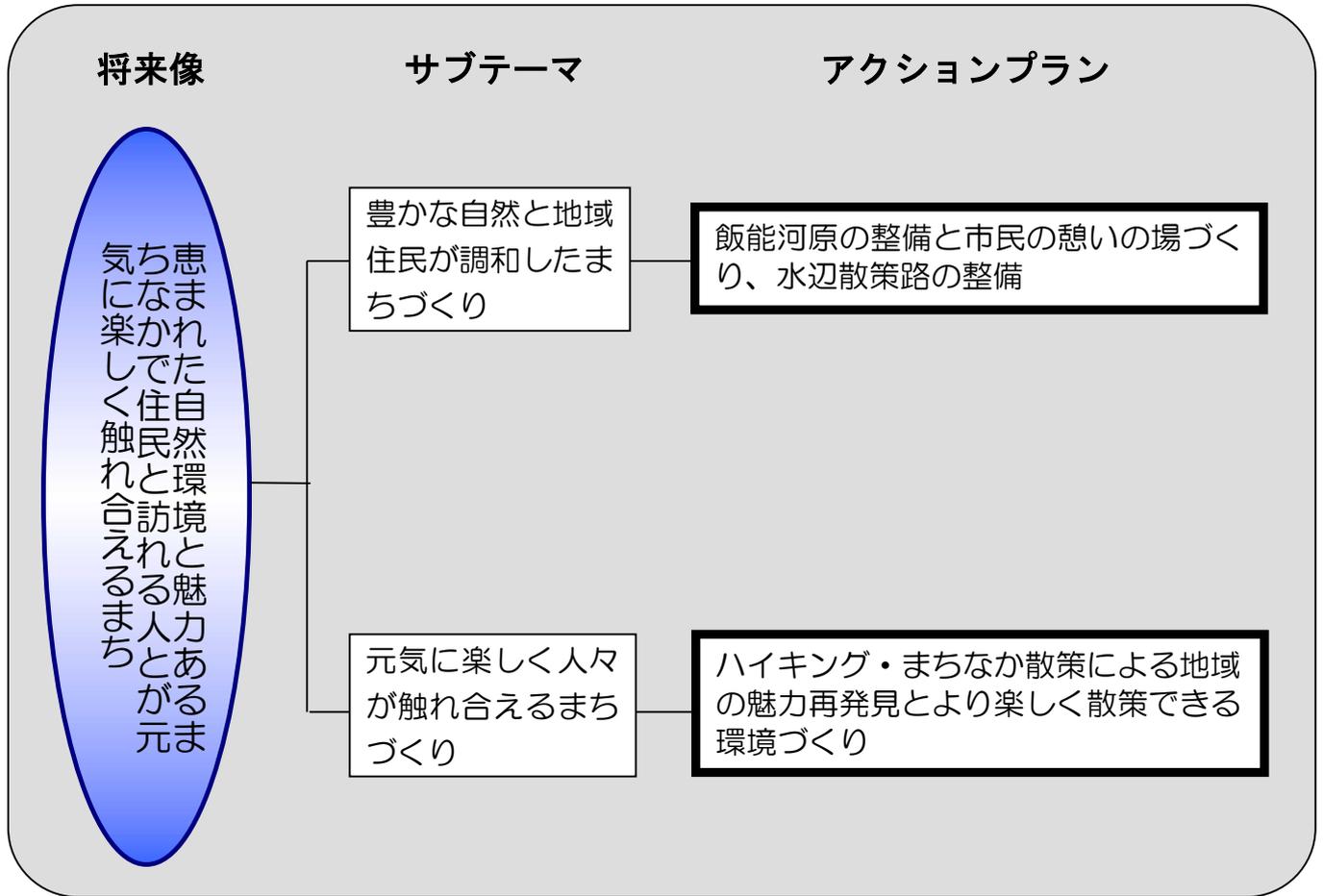
将来像

恵まれた自然環境と魅力あるまちなかで住民と訪れる人々が元気に楽しく触れ合えるまち

サブテーマ

- 豊かな自然と地域住民が調和したまちづくり
- 元気に楽しく人々が触れ合えるまちづくり

飯能地区協働計画「アクションプラン」



水仙が飯能河原を埋め尽くす風景＝飯能の冬の風物詩の実現に向けて継続した植樹活動を展開

★アクションプラン①

「飯能河原の整備と市民の憩いの場づくり、水辺散策路の整備」

【目的】

市民の憩いの場づくりと地域住民の多様なコミュニティ形成の促進。
来街者に誇れる飯能の名所づくり。

【取り組み方】

- ・飯能河原の数十年後を見据えた樹木・花（秋冬）の植栽による景観整備への取り組み。
- ・飯能河原～吾妻峡の水辺散策路の整備への取り組み。
- ・ベンチ・テーブル、標識・看板等利用する人のための快適な環境の整備への取り組み。
- ・飯能河原の植樹並びに維持活動への地域住民（子供・女性等）の参加、河原での各種イベント開催による地域住民の交流・親睦促進への取り組み。



毎秋、地域の子供たちと水仙の植樹会&食事会を開催。飯能河原に咲いた水仙を見て「自分が植えたんだよ～」という子供たちの明るい声が飯能河原に響き渡る日を期待して！

★アクションプラン②

「ハイキング・まちなか散策による地域の魅力再発見とより楽しく散策できる環境づくり」

【目的】

郷土愛の醸成と闊達なコミュニティの形成。
より楽しいハイキング・散策が出来る環境整備。

【取り組み方】

- ・地域住民と一緒にハイキング及びまちなか散策を行う事による、地域の魅力再発見活動と住民間の交流・親睦を深める活動への取り組み。
- ・市民はもとより来街者がより快適・安全にハイキング・散策ができるよう、案内MAP、各種看板、道標等の環境整備活動への取り組み。



第二区地区の魅力再発見を目的に作られた駅からMAP第5弾「清流と里山の歴史を訪ねて」に即してより楽しく快適に散策できるよう道標を設置（弁天橋等計8カ所に設置）



アクションプラン②
ハイキング・まちなか散策による地域の魅力再発見とより楽しく散策できる環境づくり



飯能地区アクションプランマップ



天覧山



中央公園 (アトム像)



宮沢湖

飯能日高消防署

智観寺 祀

文 市民会館
博物館

文 図書館

文 文
● 富士見地区行政センター
● 飯能市役所

飯能河原

飯能中央地区行政センター

東飯能

飯能

299

アクションプラン①

飯能河原の整備と市民の憩いの場づくり、水辺散策路の整備



精明地区



南小畔川アヤマ群生地

精明地区は 299 号バイパスを挟んで南と北に位置し、それぞれ異なった環境にあるのでその特色を活かしたまちづくりができる。

当該地区で新たな交通手段「おでかけむーま号」の運行が開始し、高齢者等の方々の買い物や通院などの移動手段が改善される。

また土地区画整理事業による道路整備で拡張された歩道に、地域のボランティア団体による四季を通じた花の植栽が人々の目を楽しませている。

活動実績

精明地区まちづくり推進委員会は、平成12年に発足した。南小畔川のクリーン活動では、飯能第一中学校の生徒と自治会等の協力を得て行っている。また、川辺にアヤメを植えていく事により、川辺の浄化と自然環境が蘇っていることが実感できている。

コスモスの里まつりでは地域住民だけでなく、市内外からの来場者を含め無料の花摘み、有料ではあるが、サツマイモと枝豆の収穫体験が好評である。

地区スポーツ協会が開催するウォーキングイベントの昼食会場では豚汁の提供も行っている。

今後、精明、双柳、富士見各小学校の児童を対象にPTA、各自治会、各団体等の協力を得て、餅つき大会を開いていくことに皆が意気揚々としている。

現状と課題

精明地区では、「小さな発見に満ちた北欧時間の流れる森と湖 メッツァ」が開園し、区内の交流人口が増加、現状が大きく変わった。このチャンスを生かし、次の世代につなげるような活発な事業展開を実施する必要がある。また、耕作放棄地や空き家等の問題に対しても、精明地区一丸で取り組んでいく必要がある。

事業として定着してきた南小畔川の清掃には、各自治会の協力と飯能第一中学校の生徒の参加により、協力意識が芽生え、地域の人達との連携の輪が広がり、ボランティアの楽しさを生徒の皆様感じてもらった。

精明地区は市街地から距離があるため、買い物等で交通の不便を感じている。高齢となり、運転免許証を返上したくても、その後の生活の不自由さを考えるとつい先送りになってしまうとの声も聞く。地域住民の日常の買い物等のための新たな移動手段として「おでかけむーま号」の本格運行が開始された。今後は、おでかけむーま号が持続可能な移動手段となるよう、地域住民による利用促進等が必要となる。

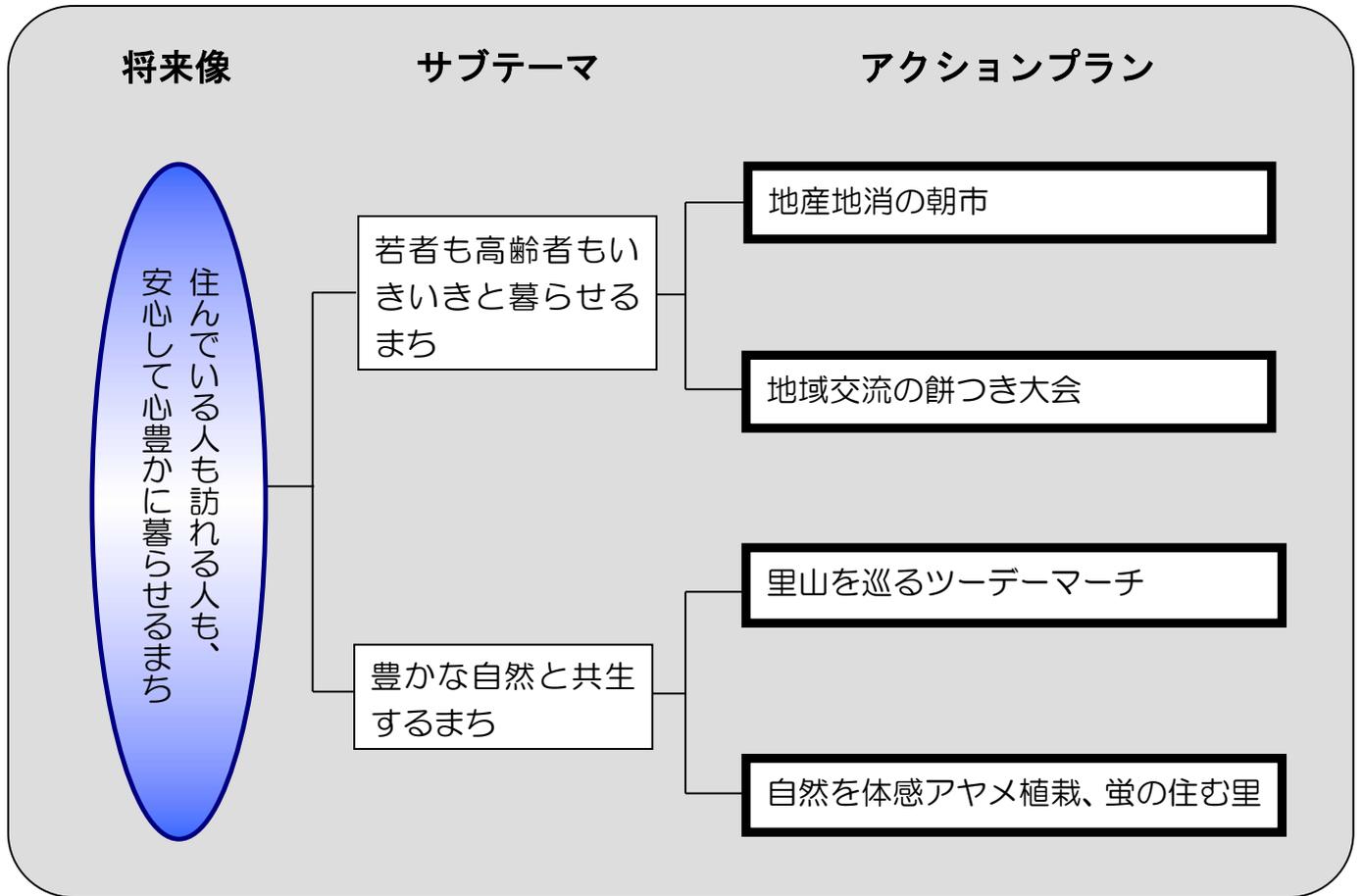
将来像

住んでいる人も訪れる人も、
安心して心豊かに暮らせるまち

サブテーマ

- 若者も高齢者もいきいきと暮らせるまち
- 豊かな自然と共生するまち

精明地区協働計画「アクションプラン」



双柳小学校区餅つき大会

★アクションプラン①「地産地消の朝市」

〔目的〕

地産地消の観点から地元生産者の顔が見え、直接触れ合える場とする。

【取り組み方】

- エリア内を会場とし、生産者には主旨をご理解していただき協力をしていただく。
- 消費者には地元の生産物の紹介と共に生産者の素顔も含めてPRする。
- 本会としては会場準備と自治会広報のご協力をいただくよう計らう。

★アクションプラン②「地域交流の餅つき大会」

〔目的〕

地域に住む人々が気軽に参加し、餅つきという古くからの行事をとおして交流を計り地域の活性の一助とする。

【取り組み方】

- エリア内を会場とし、子どもから大人まで参加していただく。
- 飲食の伴う事業なので衛生管理の徹底を図る。
- この事業は参加者がもち米を苗植えから育成し、地消することを最終目的とする。

★アクションプラン③「里山を巡るツーデーマーチ」

〔目的〕

飯能新緑ツーデーマーチで市外から訪れる方達に精明地区の自然を楽しんでもらう。

〔取り組み方〕

- ・精明地区行政センターでのおもてなし及びコース上での参加者誘導の為の人員を提供する。
- ・精明地区行政センターで参加者に豚汁を提供する。

★アクションプラン④「自然を体感アヤメ植栽、蛍の住む里」

〔目的〕

里山の風景が残る南小畔川に、より良い環境を作り失われつつある自然を後世に残す。

〔取り組み方〕

- ・河川敷内の不法投棄物や雑草除去を行い、蛍の生息環境を整える。
- ・蛍の幼虫の放流等も合わせて行う。
- ・河川敷に自生しているアヤメの株を株分けしながら生息範囲を拡大させていく。
- ・対象範囲は郷路橋から飯能寄居線下までの間とする。



長福寺



宮沢湖・メツツア

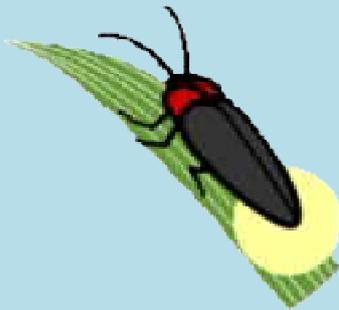
飯能日高消防署

精明地区行政センター

文

アクションプラン④

自然を体感アヤマメ植栽、
蛭の住む里



299

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

文

飯能警察署

富士見地区行政センター

飯能市役所

双柳地区行政センター

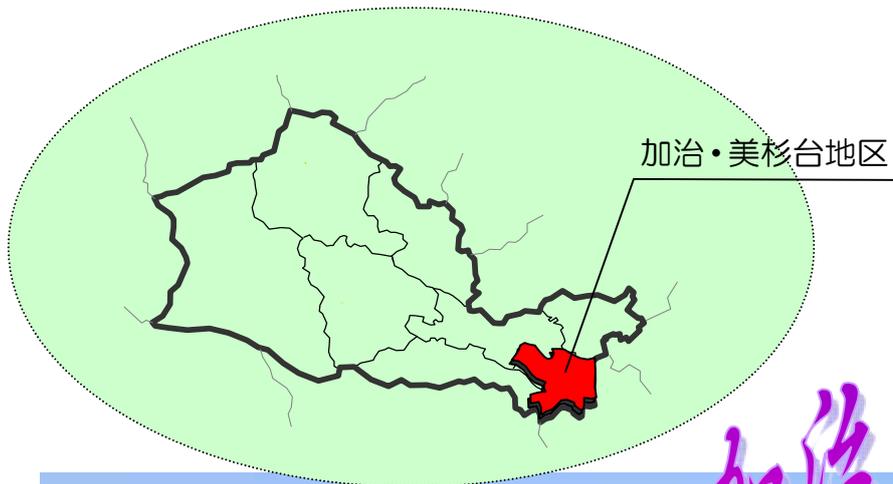
299

東飯能

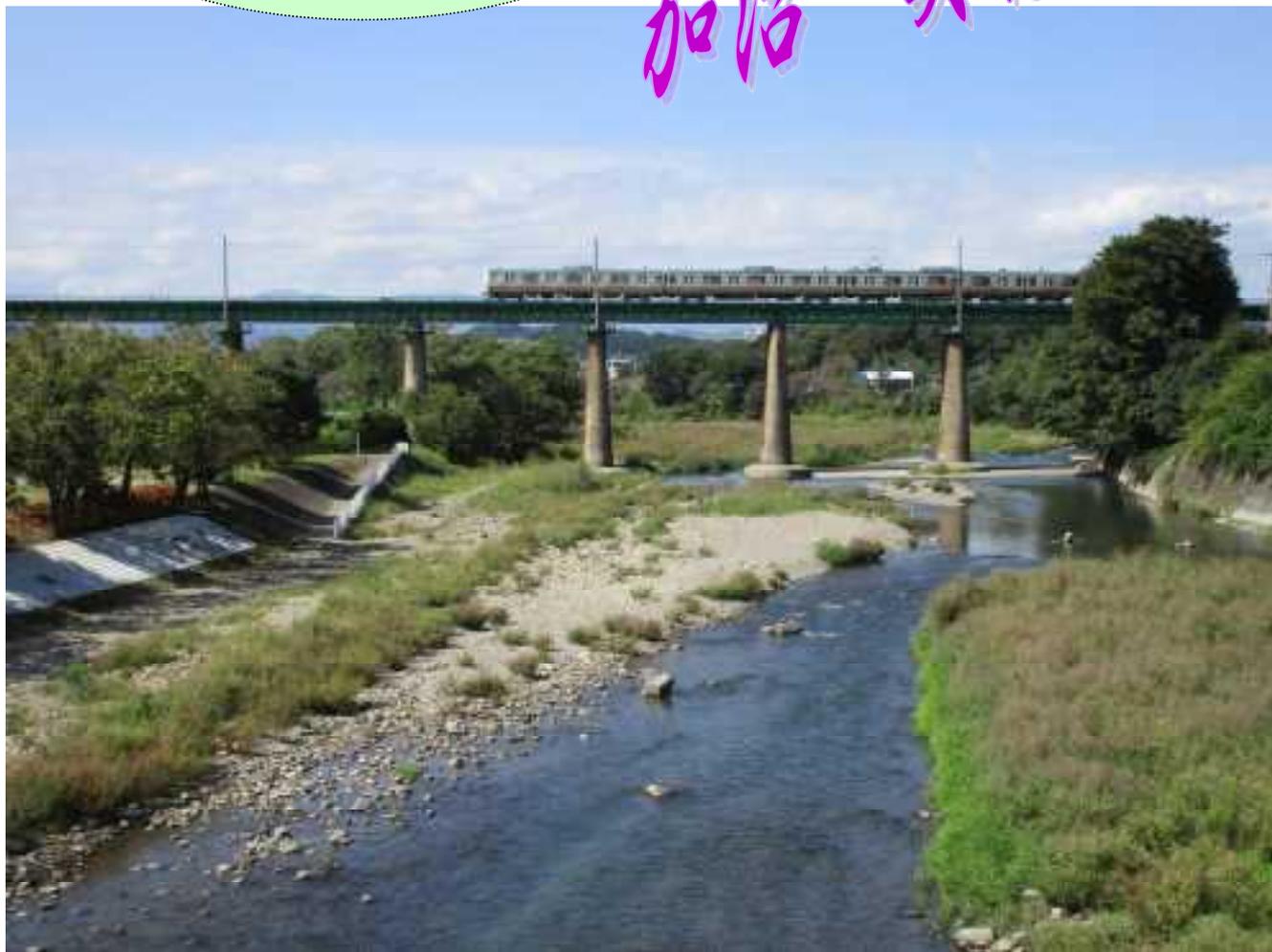
飯能

精明地区アクションプランマップ





加治・美杉台地区



阿岩橋から眺めた入間川 (左側はあいわ広場・鉄橋を走るのは JR 八高線)

加治・美杉台地区は、飯能市の南東部に位置し、自然豊かな阿須丘陵と清らかな河川などに恵まれた素晴らしい自然環境を有する住宅ゾーンである。

また、幼稚園から大学までの教育施設が整い、阿須運動公園やトーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園などが所在し、豊かな自然と共生しながら創造性と市民文化を育てる条件が揃っており、次世代を担う子どもたちを健やかに育てるには、最高の地区である。

活動実績

加治・美杉台地区まちづくり推進委員会は、平成12年8月に発足し、これまでアクションプランに基づき、阿須丘陵の散策路づくり事業、さくらの植樹事業、水辺の楽校事業を実施してきた。また、活動に関連のある別組織「あいわ広場会」が、あいわ広場の整備事業、加治中学校の生徒と協働で「真善美の小径」の整備を実施してきた。

- ・阿須丘陵の散策路づくり事業は、これまでに完成した「あけぼの・桜山・万葉コース」「七国コース」「美杉台・大河原コース」の3つのコースの整備・維持管理を実施し、加治、加治東、美杉台の公民館とタイアップして「ふるさとハイキング」を企画・実行し、地域住民の健康増進と地域のコミュニティづくりに寄与している。
- ・さくらの植樹事業は、これまでに植樹した265本のさくらの木の根元の除草をはじめ剪定、消毒等の維持管理に努めている。春になると満開のさくらが入間川沿いを歩く人たちの目を楽しませている。
- ・水辺の楽校事業は、加治東公民館とタイアップして園児や小学校低学年を対象に水辺の水生昆虫の観察やピストン釣りをを行い、水に親しみながら河川をきれいにする啓蒙活動を行っている。また、加治中学校の中学生ボランティアは、受付を担当して参加した園児や小学生を班編成にして引率、釣りの指導など運営全般の体験をしている。冬には、水辺に住む野鳥の観察会等も行い地域住民の交流の場をつくり親睦の和を広げている。
- ・真善美の小径事業は、彼岸花の群生地においては年6～7回の除草作業と整備を行い、時期には彼岸花の分球・移植を実施し、満開の彼岸花が人々の目を楽しませている。また、早春には小さいながらも可憐な花をつけるアマナ（甘菜：花期は3月から4月）が群生し、小径を歩く人たちの楽しみが増えている。

現状と課題

恵まれた素晴らしい自然環境と教育、文化施設を多数有する本地区は、自然・歴史・文化などの地域資源や、これまでの活動で培ったノウハウや財産を有効に活用し、地域ぐるみの活動として積極的な事業展開を図っている。

特に、平成17年12月から管理を委託された、「あいわ広場」を活動の拠点として、地域住民のふれあいの場として利用する事業を企画し、地域コミュニティの維持、向上に寄与させ、魅力的で活力あふれる「わくわくした地域づくり」を目指している。恵まれた自然環境を維持管理するために必要な人的資源が減少傾向にあり、今後、元気で活動できる高齢者や、将来を託せる若い担い手の確保が必須である。

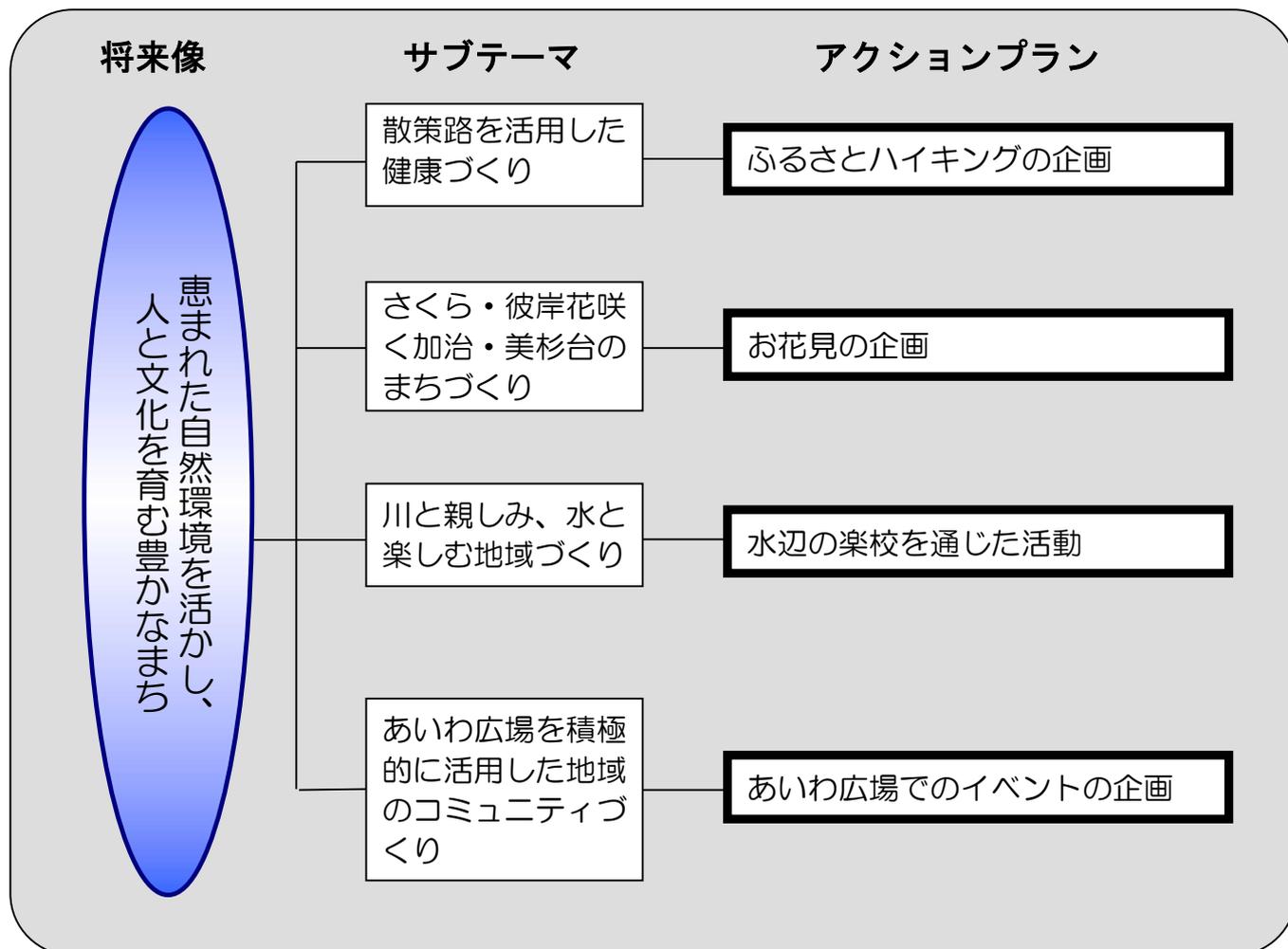
将来像

恵まれた自然環境を活かし、
人と文化を育む豊かなまち

サブテーマ

- 散策路を活用した健康づくり
- さくら・彼岸花咲く加治・美杉台のまちづくり
- 川と親しみ、水と楽しむ地域づくり
- あいわ広場を積極的に活用した地域のコミュニティづくり

加治・美杉台地区協働計画「アクションプラン」



真善美の小徑に咲く、早春のアマナと秋の彼岸花

★アクションプラン①「ふるさとハイキングの企画」

〔目的〕

「あけぼの・桜山・万葉コース」「七国コース」「美杉台・大河原コース」の各コースや市内の観光名所等を巡る、「ふるさとハイキング」を企画して地域住民の健康増進を図る。

〔取り組み方〕

- ・加治・美杉台地区の各公民館及び関係団体と協働して企画・運営をする。
- ・各コースの道標や案内板の維持管理や整備等をする。



願成寺の板石塔婆



ふるさとハイキングの様子

★アクションプラン②「お花見の企画」

〔目的〕

地域住民の交流を図り親睦を深める。

〔取り組み方〕

- ・関係団体と協働して、春はさくらとアマナ、秋には彼岸花の花見を企画運営していく。
- ・さくらの木の周りの除草や消毒・剪定等をする。
- ・真善美の小径沿いのアマナ、彼岸花の群生地除草、整備等をする。
彼岸花は分球・移植をして、さらに群生地を広げる。



入間川沿いの征矢町の満開のさくら



開花し始めたころの真善美の小径の彼岸花

★アクションプラン③「水辺の楽校を通じた活動」

〔目的〕

入間川を中心に水生生物及び野鳥の観察を通して、きれいな水の大切さを認識してもらう。

〔取り組み方〕

- ・園児や小学校低学年を対象として、川や川辺と親しみ楽しみながら水の大切さを学んでもらい、併せて同伴の保護者にも認識していただく機会とする。
また、中学生ボランティアには園児や小学生と交流、釣りの指導などの体験をしてもらう。
- ・水辺に住む野鳥の観察会では、自然環境保護の大切さと地域住民の交流親睦の場とする。



ピストン釣りを楽しむ参加者



入間川沿いで野鳥の観察をする参加者

★アクションプラン④「あいわ広場でのイベントの企画」

〔目的〕

あいわ広場を積極的に活用する企画を行い、多くの人々が触れ合える「わくわくした地域づくり」を推進する。

〔取り組み方〕

- ・地域の賑やかな場所にするため、イベントを開催して元気で魅力的な活気溢れる「わくわくした地域づくり」に貢献する。
- ・あいわ広場の除草と整備をし、併せて河原の除草、ごみ拾い等を行う。



観光客で賑わう「あいわ広場」と入間川

阿須丘陵ハイキングコース
あけぼの・桜山・万葉コース
全長4.5km 1時間30分



アクションプラン①
ふるさとハイキングの企画

トーベ・ヤンソン
あけぼの
子どもの森公園

アクションプラン②
お花見の企画

アクションプラン③
水辺の楽校を通じた活動



元加治駅	5分	上橋	12分	市民球場 市民体育館 ホッケー場	徒歩での 所要時間
	10分	郵便局	7分	阿須運動公園	
		阿須橋経由		15分	長澤寺

加治・美杉台地区アクションプランマップ

アクションプラン④
あいわ広場でのイベントの企画

**阿須丘陵ハイキングコース
七国コース**
全長10km 4時間



七国広場の標柱



あさひ山展望公園入口

◆あさひ山・ゆうひ山コース
美杉台公園がスタート・ゴール
全長 約 3.7 km

◆大河原・美杉台コース
美杉台公園がスタート・ゴール
全長 約 3.74 km

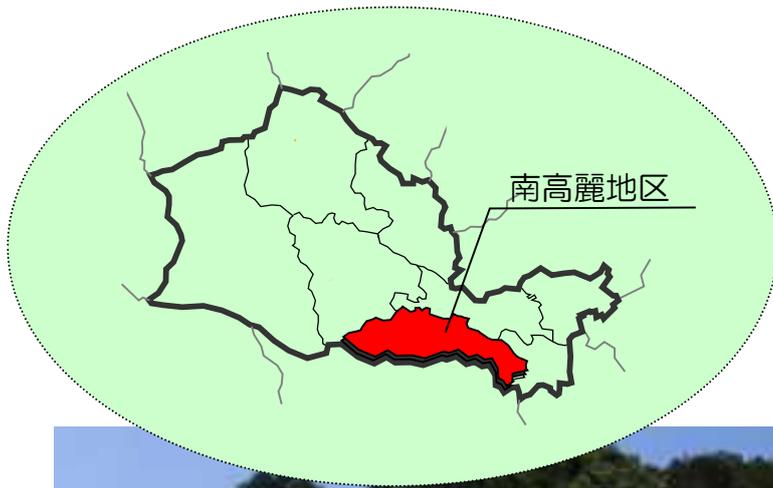


真善美の小径

スタート・ゴール

◎美杉台公園
多目的グラウンド

加治・美杉台地区まちづくり推進委員会



南高麗地区



令和元年度飯能新緑ツーデーマーチ南高麗接待所運営委員一同

南高麗地区は、飯能市街地の南西に位置し、東西約9km、南北約4kmの細長い形状をした、中山間地と呼ばれる地域です。西の山間部には市指定天然記念物のモリアオガエルが生息し、東部には同じく市指定天然記念物のカタクリやイカリソウが早春に花開くなど、豊かな自然を有しています。

また、縄文時代の住居遺跡が点在し、江戸城天守閣造営の際に必要な、消石灰の生産の場となった石灰焼場跡や、現存する曹洞宗の本堂としては最も古い長光寺の本堂があるなど、この地には長い歴史と、その歴史に醸し出された豊かな生活文化があります。

年に一度の大運動会や文化祭の時期になると、住民総出で盛り上がり、人々の心の中に郷土愛の溢れる地域でもあります。

活動実績

南高麗地区まちづくり推進委員会は、平成12年11月に発足し、これまでアクションプランに基づき、IT、イベント、ふるさと、夢農場、子ども・学校応援の各実行委員会によるさまざまな活動を展開してきました。

- IT実行委員会は、HPの作成や更新、普及等、南高麗地区の様子を情報発信する活動を行ってきました。また、地区内で行われる行事を撮影し、写真記録に努める一方、昔の写真をデジタル記録する活動を行いました。
- イベント実行委員会は、各種イベントを企画・実行し、地区住民の交流の場を作りました。ツーデーマーチと地区文化祭での売店運営、会員の親睦を図る暑気払い、研修旅行も実施してきました。
- ふるさと調査実行委員会は、南高麗地区内のハイキングコース設定とコースの道標整備、主だった山頂に石の標識を立てる活動を行い、石標はすでに12基立てることができました。下畑の穴郷(あなご)は里山の雰囲気を生かした取り組みをしてきました。
- 夢農場実行委員会は、会員自らが農作物を作ることにより、ともすると衰退のおそれのある農業に対する理解を深め、作業を通じて会員相互の協力体制の強化に役立っています。具体的には小中学校の児童・生徒と農業体験実習を実施し、作付けと収穫の喜びを共有しました。また、南高麗の花いっぱい活動で植えたミツバツツジの管理も継続して行ってきました。
- 子ども・学校応援実行委員会を、平成22年度に立ち上げ、継続して活動してきました。「子どもは地域の宝」という言葉があるように、将来少しでも地域に留まり、この南高麗地域において活躍する子どもたちの成長を見据えて、学校行事にも協力し、地域の活性化を図る活動として行ってきました。

現状と課題

恵まれた自然を維持するために必要な人的資源の減少により、今後、地域の環境保全是難しいと感じています。

この現状を打破するためには、元気で経験豊富な高齢者が地域の活動に主体的かつ積極的に取り組むことが必要です。したがって、高齢者が意欲的に取り組める魅力的な活動を創り出すことが急務と言えます。

また、どうすれば若い世代が南高麗地区に留まるか、その方法を地区全体で考える必要にも迫られています。その先駆けとして、今からでも地域を挙げて子ども会や学校行事への協力を行い、将来的な地域の担い手の確保を目指して活動していく必要があると考えています。

南高麗地区は、市街化調整区域であることから、住宅の建築が制限されていますが、平成28年度から“農のある暮らし”「飯能住まい」制度が導入され、57世帯178人(令和4年2月末現在)の移住が決定したことにより、人口増加が図られました。この制度が確実に定着するためには、地域の方の土地有効利用への更なる協力や移住者受け入れの理解が必要です。また、移住者の皆さんがまちづくりの活動に参画していただく手立てを考える課題があります。

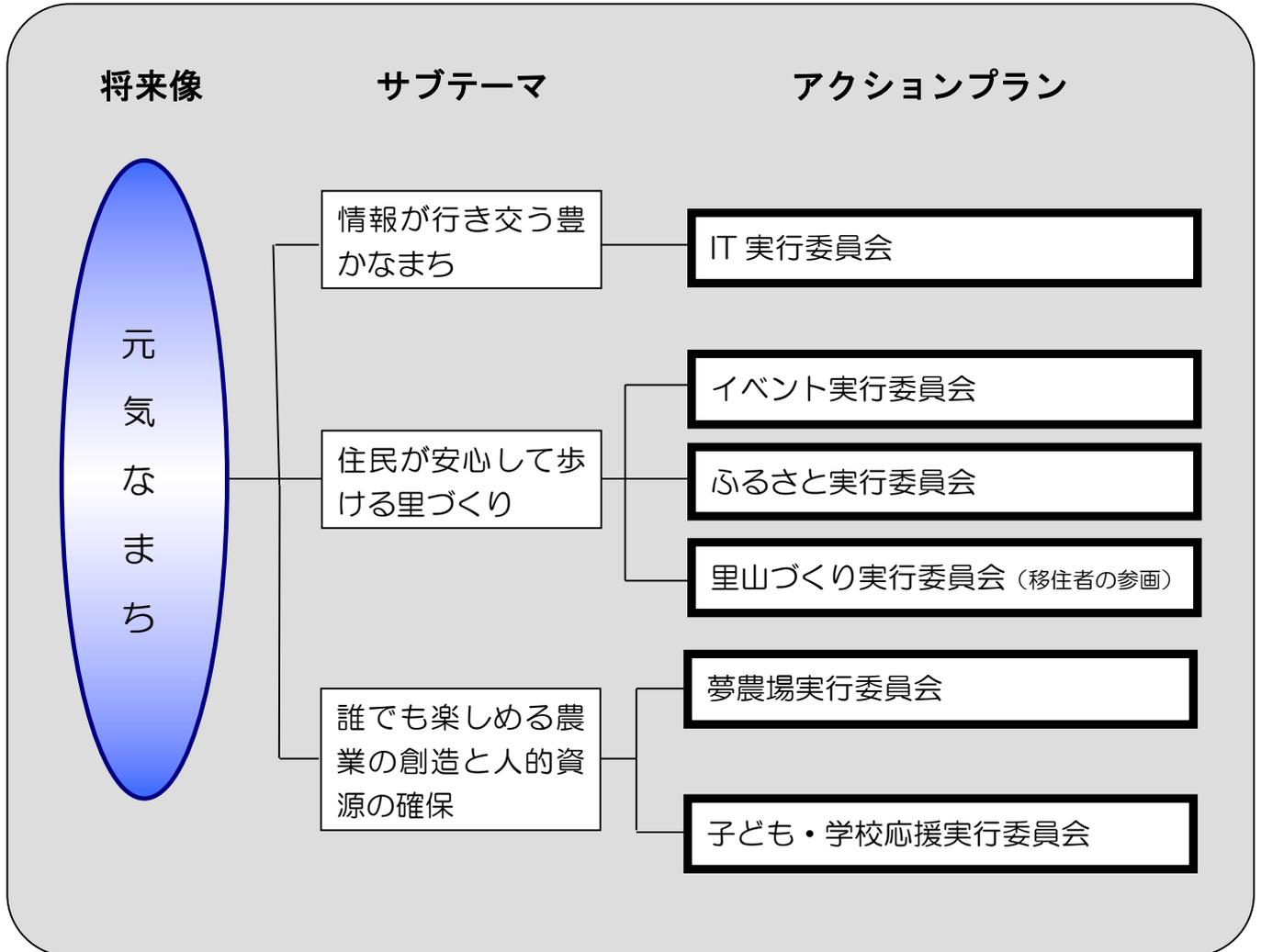
将来像

元 気 な ま ち

サブテーマ

- 情報が行き交う豊かなまち
- 住民が安心して歩ける里づくり
- 誰でも楽しめる農業の創造と人的資源の確保

南高麗地区協働計画「アクションプラン」



長光寺山門 長い歴史のある地域です



新しい息吹 農のある暮らし体験ツアー

★アクションプラン①「IT 実行委員会」

〔目的と取り組み〕

高度情報化社会への変遷に伴い、南高麗地区ではIT メディアを利用し、地区内の情報を共有化することで、南高麗地区の一体感を向上させます。

同時に、地区の発展に役立つ地区外の情報の収集も平行して行っていきます。

今後も引き続き南高麗地区まちづくり推進委員会ホームページの運営や初心者向けのパソコン講習会を実施していく予定です。

HP を使って行事をPR し、参加を募る方法を導入します。

古い写真をアーカイブスとしてデジタル記録保存する活動を行っていきます。

ホームページの名称は「おいでなすって南高麗」です。

★アクションプラン②「イベント実行委員会」

〔目的と取り組み〕

地区住民が安心して暮らせるまちをつかっていくためには、住民が直接顔を合わせ、言葉を交わす機会を設けることが重要です。

文化祭やツデーマーチ、健康づくりのワンデーウォーク、収穫祭等、人と人がふれあう機会を可能な限り多く作り、将来像である「元気なまち」を目指して活動を進めていきます。売店運営は、携わる人を確保する課題を解決しつつ、今後も実施していきます。



南高麗地区賀詞交歓会 2019年



クリスマスイルミネーション 2020年

★アクションプラン③「ふるさと実行委員会」

〔目的と取り組み〕

南高麗地区の恵まれた自然に、地区の内外を問わず多くの人にふれていただくために山道の整備を行います。南高麗全域のハイキングコース整備はほぼ終わりましたが、さらなる調査を行い、出来るだけ多くのコース整備を目指します。また、公民館（地区行政センター）やスポーツ協会と連携して作り上げたハイキングコース 10 コースも両者とのタイアップ事業で活用していきたいと思えます。



石標設置事業 令和 3 年 間野富士山

★アクションプラン④「里山づくり実行委員会」

〔目的と取り組み〕

下畑の穴郷（あなご）という土地は、魅力的な里山です。“農のある暮らし”「飯能住まい」で、移住された皆さんと一緒に里山づくりをしていきたい考えです。里山の手入れをしながら、暖炉の薪を作る体験、椎茸のほだ木づくりなどの活動を推進します。また夏はホタルが飛び交うことから、ホタルの育つ環境づくりと併せて、花の咲く木を植え「花とホタルのハイキングロード」設定の検討を行います。



ホタル観賞会（穴郷）
2021 年 6 月

★アクションプラン⑤「夢農場実行委員会」

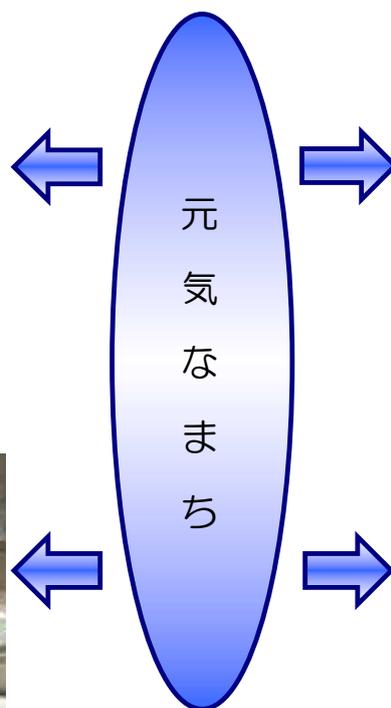
〔目的と取り組み〕

農業をとおして多くの仲間をつくり、農業への理解を深め、誰でも楽しめる農業を目指し、南高麗を農業で賑わう地にしていきたいと考えます。また、多くの仲間を募るため、地区外賛助会員制度も取り入れています。恒例となっている地区の小中学生との農業体験実習や地区の小中学校や福祉センター等へ収穫した農作物の提供を行っていきます。ミツバツツジの管理については所期の目的を達成したので、縮小を検討します。

★アクションプラン⑥「子ども・学校応援実行委員会」

〔目的と取り組み〕

「子どもは地域の宝」という言葉があるように、若い世代の南高麗地区からの流出を防ぎ、地域の担い手を確保していかなければなりません。将来もこの地域に留まり、地域の良さを理解し、南高麗地区で活躍する子どもたちの成長を見据え、地域を挙げて子どもや学校行事に協力することで地域の活性化を図っていきます。



各アクションプランを推進するうえで、活動モデルを次のとおり示す。

南高麗地区まちづくり推進計画 活動モデル1

南高麗地区の交流人口を増やすため、里山・人・仕事を結びつける「里山親民」の定着化を目指す。

- 地区に有る環境や施設をそのまま活用して、通年人を呼ぶ事業の実施を検討する。
- 里山体験イベントを開催する。

【 1月～12月年間行事例 】

- 1月 餅つきと七草料理・猪鹿鍋
- 2月 きのこと菌打ち（椎茸・なめこ）
- 3月 野菜の種まき・野草教室
- 4月 花見ハイキングと田舎料理
- 5月 ダイコン種まき・サツマイモ苗植え
- 6月 梅の収穫と梅干・梅酒づくり
- 7月 野菜の収穫・しそジュースづくり
- 8月 お祭り参加・川遊び
- 9月 稲刈りと収穫祭
- 10月 山仕事・ほだぎ・きのこ狩り
- 11月 たき火と焼き芋
- 12月 かどまつ・リースづくり

【事業推進のキーワード】 事業を進めるための視点

“農のある暮らし”「飯能住まい」に連動したまちづくり計画を具現化するには地域の総合力を持ってあたる。

- 協力体制による共同体組織の活動：できる所から始める
- 存在環境施設の活用：有るもの探しからの発想
- イベントごとに独自性を持たせる：やりたい事に工夫を凝らす
- 行政の協力：埼玉県や飯能市の許可と支援を得る
- 地域の協力と連帯：地区の人たち・各団体や組織との連携
- 開催時期：タイムリーな企画が必要
- エコツーリズムによる事業：主体は主催者
- 利益をしっかりと上げることが必要：収支決算を確認する
- 地域の交流市場：野菜や特産物の販売所を設け、地域内外の交流を図る



アクションプラン⑤
夢農場実行委員会



時計台



滝の入タブの木

アクションプラン⑥
子ども・学校応援
実行委員会



石灰焼場跡

アクションプラン③
ふるさと実行委員会

 ミツバツツジ
 一本桜

南高麗地区アクションプランマップ

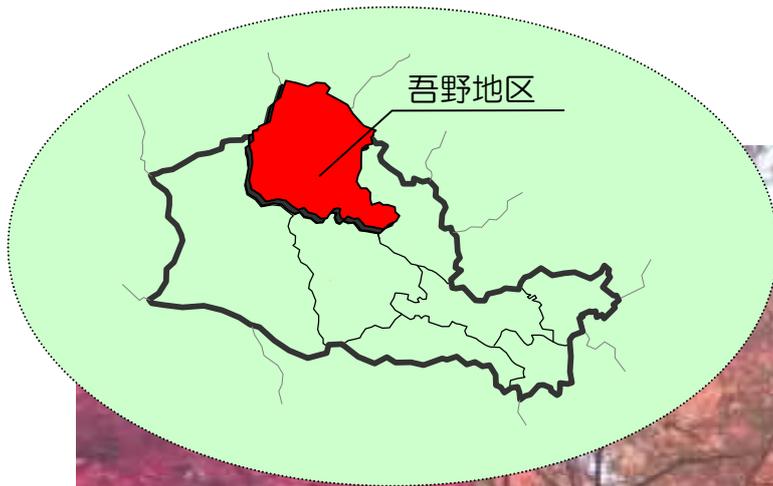


アクションプラン①
IT 実行委員会



アクションプラン④
里山づくり実行委員会

アクションプラン②
イベント実行委員会



吾野地区



紅葉の名所 東郷公園

吾野地区は、飯能市内の北西に位置し、豊かな森林と清流「高麗川」を源流とした恵まれた自然環境の中に歴史と文化が息づくまちである。

地区内には、高山不動尊や東郷公園、伊豆ヶ岳、正丸峠などがあり、吾野道は、子ノ権現、顔振峠への登山口となり、1年を通じてハイキングや川遊び等の多くの観光客が訪れる地区である。

人口減少に負けない、豊かで元気な地域創造を目指し、まちづくりに取り組んでいる。

活動実績

吾野地区まちづくり推進委員会は、「自分たちの住む場所は、自分たちで良くする」との基本的な考え方を共有し、多くの仲間を募り知識を結集し、子供たちをはじめ多くの人々が「吾野」を自慢し、誇りを持って暮らせる地域となることを目指し、様々な事業を展開してきた。

■景観整備事業

当地区が有する豊かな自然環境を保全し、その魅力を次世代につなげる活動に取り組んでいる。

1. 高山関八州見晴らし台付近の草刈
2. 奥武蔵中学生との共同作業（高麗川源流の清掃、植樹）

■耕作放棄地の活用

自ら畑を耕作することで休耕地の活用策の検討を行い、また、地域の特産品となる農作物の普及・啓発に取り組んでいる。

1. 獣害防止柵の設置、耕作準備（耕うん等）
2. ジャガイモ栽培、サツマイモ栽培、蕎麦栽培、大豆栽培

■当地区の魅力を外部に発信することを目的としてホームページの作成・運営を行っている。

1. ホームページの開設、フェイスブックの開設

現状と課題

当地区の自然環境・交通アクセスなど好条件を大いに生かした事業の展開を考え、実行することが求められているが、まちづくり活動に参加するメンバーの高齢化・固定化が進んでいるのが現状である。そのなかで、活動の活気を促し地域のための魅力的な事業を進めていくことが課題である。過去に学び、今出来る、又はしなければならぬことを実行し創造していく活動を実践していきたい。

現状

1. 若年層の事業参加がない。毎月の理事会に活発的意見が少ない。
2. 各事業が試行段階である。

課題

1. 外部との交流をもち、活気を促す
2. 魅力的な事業の展開
3. 収益事業の構築
 - 1) 休耕地、耕作放棄地を使用した栽培品の収穫
 - 2) 販売方法の検討

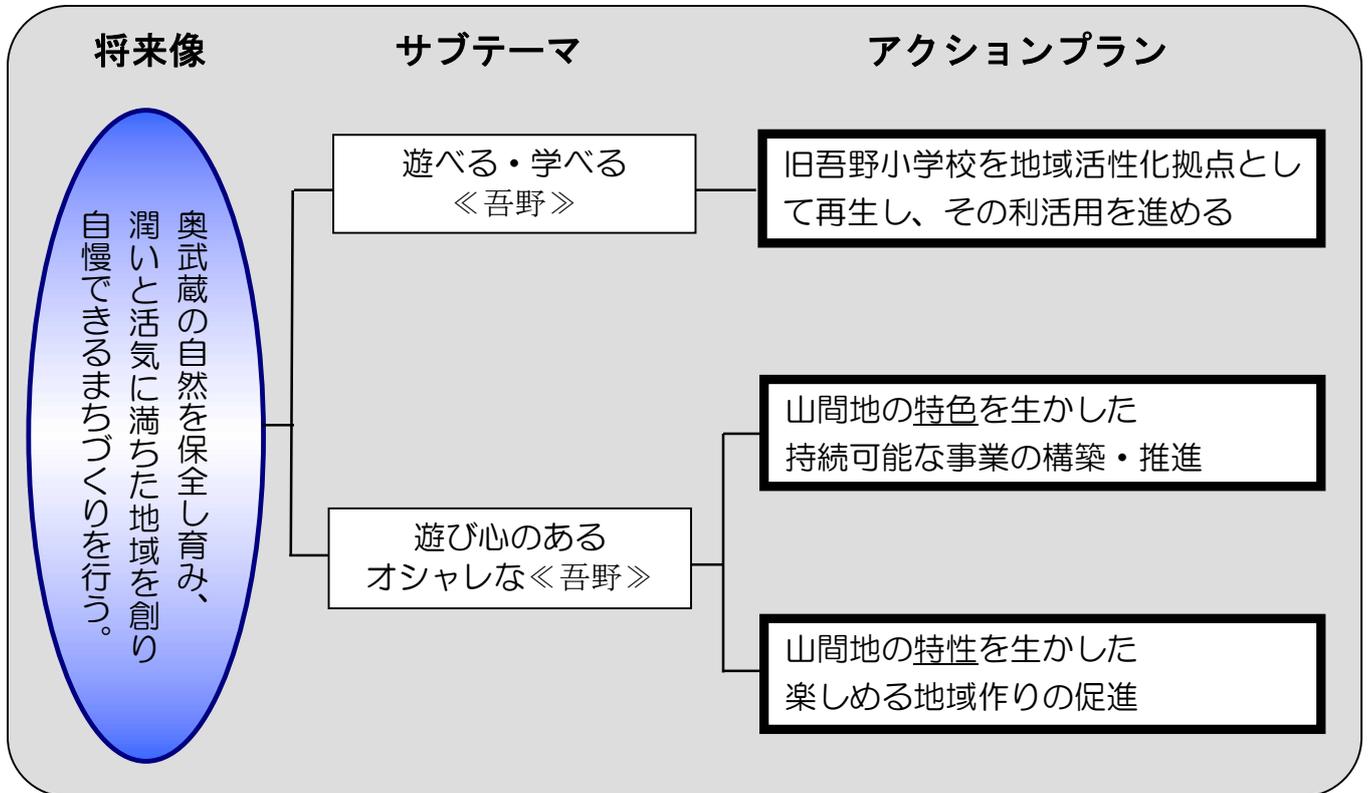
将来像

奥武蔵の自然を保全し育み、潤いと活気に満ちた地域を創り
自慢できるまちづくりを行う。

サブテーマ

- 遊べる・学べる《吾野》
- 遊び心のあるオシャレな《吾野》

吾野地区協働計画「アクションプラン」



旧南川小のひな祭り



坂石町分のお囃子

★アクションプラン①

「旧吾野小学校を地域活性化拠点として再生し、その利活用を進める」

〔目的〕

廃校になった旧吾野小学校校舎を再生し、その活用策を推進することにより、吾野地区に新たな付加価値を加え、地域の賑わいを創出する。

〔取り組み方〕

- 外部事業団体と連携し、「遊びと学び」をテーマとする「奥武蔵フォレストエデュテイメント構想（仮称）」の実現を図る。
- 行政と連携し、旧校舎の防災拠点化を実現することにより、地域住民が安心して住めるまちづくりを進める。



旧吾野小学校

★アクションプラン②

「山間地の特色を生かした持続可能な事業の構築・推進」

〔目的〕

自然環境に恵まれた吾野地区は、西川材に代表される森林資源を有し、ジャガイモ、柚子、のらぼう菜などの農産物の栽培が盛んに行われている。山間地ならではの資源を生かし特色あるまちづくりを進める。

〔取り組み方〕

- 「ファーム輝」※事業を継続的に発展させ、耕作放棄地の活用を進める。
※吾野地区まちづくり推進委員会が運営する畑。毎年、ジャガイモ・大豆・サツマイモなどを栽培し、地域住民も参加した収穫イベントを行い、収穫物は行政センターなどで販売を行っている。
- 地元特産品の栽培とその収穫物の収益化を図りつつ、持続的な事業化を目指す。

★アクションプラン③

「山間地の特性を生かした楽しめる地域作りの促進」

〔目的〕

山間地にある吾野地区は、豊かに恵まれた自然環境に接するために多くの人々が訪れる地域である。

その山間地の特性を生かし、楽しめる地域づくりを進め、多くの人々が地域に接する機会を設けることで、関係人口の増加を促す。

〔取り組み方〕

- 外部団体と連携したトレイルランニングなどのスポーツイベントを推進する。
- キャンプ・バーベキューなどの自然体験の場や機会を設ける。
- ハイキングルートの整備等により自然景観の維持を図る。
- 上記の取組や、地元の行事・風習・歴史・名所/旧跡などをHP・SNSなどを通じて発信し、地域の魅力の認知向上を図る。

◇ 吾野地区まちづくり推進委員会ホームページ : <https://www.agano-okumusashi.com/>

◇ 吾野地区まちづくり推進委員会フェイスブック : <https://www.facebook.com/agamachi01>

アクションプラン③

山間地の特性を生かした楽しめる地域作りの促進



ファーム輝

アクションプラン②

山間地の特色を生かした持続可能な事業の構築・推進

吾野地区アクションプランマップ



アクションプラン③



自然景観の維持

アクションプラン①

旧吾野小学校を地域活性化拠点として再生し、その利活用を進める



旧吾野小学校



東吾野地区



八徳の一本桜

東吾野地区は飯能市の北部に位置しており、良く手入れされた杉、檜の美林と高麗川の清流、「ほたる」の飛び交う支流もあり、恵まれた自然環境の中に位置している。

また、歴史文化遺産も多々あり、四季をとおして、地区外から訪れる人達も多く、山里風景の美しい郷である。

少子化、高齢化、人口減少は避けられない現実であるが、各大字を中心にして、地域振興の活動は活発に行われている。

また、隣近所での交流は盛んで、お互いに助け合う土壌は、先人から受け継がれており、心豊かな「ほっこり」した地域である。

活動実績

東吾野地区まちづくり推進委員会は、幾つかの専門部会を立ち上げ、活動を展開している。広報部会では「おらがんち」で情報発信、健康づくり部会では「地域を歩こう」「認知症予防講座」、食文化伝承部会では「餅つき」「豚汁づくり」、文化遺産部会では地域の隠れた「文化遺産の確認」等々が実施され、それぞれで実績をあげている。

「まちづくり推進委員会」「ふくしの森・東吾野」の組織を統合し、より地域の実情に合わせた活動を展開することとした。組織の統合により、より多くの地域の人達の協力が得られるのと、「地域づくり」を「点」としてではなく、「面」としての広がりがみえてきている。

平成28年7月より地域住民との交流・情報交換を目的に日用品や食材確保の移動販売車を巡回させる事業が軌道に乗りつつある。

現状と課題

東吾野地区は、心温かい、人情味のある穏やかな山里である。近隣との連帯感も厚く、お互いに助け合って生活していく「心くばり」の育まれている地域といえる。歴史遺産も多々あり、良く手入れされた美林にも囲まれ、山・川等、自然環境に恵まれた地域でもある。古くから訪れる人たちも多いが、地域では「エコツーリズム」も実施され、地域の価値観が見直されてきている。また、農林産物の販売も一部では行われており、高齢者の生きがい対策にもつながっている。

課題は山間地域の共通の問題であるが、少子化、高齢化、それに伴う人口減少と自然災害に対する対応が地域の大きな課題である。

また、合わせて「空き家対策」「耕作放棄地の増加」「高齢世帯のサポート」等々が課題として浮かび上がってくる。「まちづくり推進委員会」「山間地域振興計画」「ふくしの森・東吾野」「民生委員会」「母子愛育会」等々で培われた組織をより進展させ、地域内で情報交換し、行政との協力体制をより強固にしていかなければいけないと思っている。

また、この地に住む私達自身の責任として「自分達の地域を自分達で」「自分達で出来ることは自分達で」を合言葉として地域づくりに励んでいきたい。

将来像

安心して住みやすく、心豊かな人情あふれる
「ほっこり」した、山里風景の美しい郷

サブテーマ

- 地域づくりの情報の発信
- 地域の資源の活用と食文化の伝承
- 高齢者の生きがいと少子化への対応
- 地域文化遺産のまとめと継承
- 自然災害等に対する対応

東吾野地区協働計画「アクションプラン」



将来像

安心して住みやすく、心豊かな人情あふれる
「ほっこり」した、山里風景の美しい郷

サブテーマ

地域づくりの情報の発信

地域の資源の活用と食文化の伝承

高齢者の生きがいと少子化への対応

地域文化遺産のまとめと継承

自然災害等に対する対応

アクションプラン

「おらがんち」の発行、全戸配布
年2回発行する<予定>

「ほっこりまつり」の開催

エコツーリズムの実施

地元野菜の活用<豚汁づくり>

餅つきの伝承

農林産物の販売、地域特産品の製造・販売

「ほっこりまつり」の開催

各地区での「ふれあいサロン」の実施

支え合い活動と地域の見回り活動

空き家対策への協力

「故郷に帰ろう」キャンペーン

地区毎の歴史、自然文化遺産のまとめ

「地域を歩こう」「地域を知ろう」の活動

東吾野 50 の「おらが自慢」の選定と継承

自治会との協力体制の構築

防災組織づくりへの協力

★アクションプラン①「【おらがんち】の発行」

〔目的〕

地域づくりの情報発信

〔取り組み方〕

広報委員会を組織し、広報紙を発行する。全戸配布。

★アクションプラン②「【ほっこりまつり】の開催」

〔目的〕

地域振興と住民相互のふれあい

〔取り組み方〕

11月に実施。各地区から屋台の出店。公民館活動グループの出演、健康相談等々。
将来は地域最大のイベントを目指す。

★アクションプラン③「エコツーリズムの実施」

〔目的〕

地域資源の活用と地域の魅力発見

〔取り組み方〕

既に実施されており好評である。今後は実施者の増加と質の高さを目指していく。

★アクションプラン④「地元野菜の活用」

〔目的〕

地域資源の活用

〔取り組み方〕

敬老会、体育祭、地域を歩こう等に「豚汁」サービス。その他移動販売車にて地域住民に提供。

★アクションプラン⑤「餅つきの伝承」

〔目的〕

食文化の伝承

〔取り組み方〕

お正月用の餅つきを実施。＜消防団の協力＞ 子供達との餅つき大会。

★アクションプラン⑥「農林産物の販売」

〔目的〕

地域資源の活用。高齢者の生きがい

〔取り組み方〕

地域毎に販売体制を構築する。

★アクションプラン⑦「地域特産品の製造・販売」

〔目的〕

地域資源の活用。高齢者の生きがい

〔取り組み方〕

地域特産品（味噌）の製造・販売体制を構築する。

★アクションプラン⑧「【ふれあいサロン】の実施」

〔目的〕

地区住民相互の連携、親睦

〔取り組み方〕

地区毎に年3～4回実施する。

★アクションプラン⑨「支え合い活動と地域の見回り活動」

〔目的〕

高齢者への配慮及びこころくばり

〔取り組み方〕

畑の草刈り、庭木の手入れ及び散歩時の地域の見回り、声掛け等の心くばり。

★アクションプラン⑩「空き家対策への協力」

〔目的〕

空き家対策と人口対策

〔取り組み方〕

行政との協力体制を構築する。

★アクションプラン⑪「【故郷に帰ろう】キャンペーン」

〔目的〕

人口減少と少子化対策

〔取り組み方〕

個人的な問題でもあるが、「家を頼むよ」と親子で話し合えるような話題の提供。

★アクションプラン⑫「地区毎の歴史、自然文化遺産のまとめ」

〔目的〕

地域の歴史、文化遺産の伝承

〔取り組み方〕

アクションプランに基づき実施した各地区の歴史、自然文化遺産の調査結果を取りまとめる。

★アクションプラン⑬「【地域を歩こう】【地域を知ろう】の活動」

〔目的〕

地域の再発見と健康づくり

〔取り組み方〕

スポーツ協会との連携。地域を皆でハイキング。健康づくり。

★アクションプラン⑭「東吾野 50 の【おらが自慢】の選定と継承」

〔目的〕

地域の再発見と継承

〔取り組み方〕

「おらが自慢」を地域で選定し、東吾野歴史自然文化遺産の 50 を選定し継承する。

★アクションプラン⑮「自然災害等への対応」

〔目的〕

安心、安全な地域づくり

〔取り組み方〕

自治会との協力体制を構築する。



八徳の一本桜



阿寺の岩場

アクションプラン⑧
「ふれあいサロン」の実施

アクションプラン⑨
支え合い活動と地域の
見回り活動

アクションプラン⑩
空き家対策への協力

アクションプラン⑪
「故郷に帰ろう」
キャンペーン

アクションプラン⑫
地区毎の歴史、自然文化
遺産のまとめ

アクションプラン⑬
「地域を歩こう」
「地域を知ろう」の活動

アクションプラン⑭
東吾野 50 の「おらが
自慢」の選定と継承

アクションプラン⑮
自然災害等への対応

顔振峠



諏訪神社



地藏院

299

文 文

吾野



忠魂碑

東吾野地区アクションプランマップ



ユガテの森



福德寺
阿弥陀三尊立像



菅公像

東吾野地区行政センター

東吾野

文



興徳寺



宝篋印塔



長念寺
木造聖観音
菩薩坐像

アクションプラン①
「おらがんち」の発行

アクションプラン②
「ほっこりまつり」
の開催

アクションプラン③
エコツーリズムの実施

アクションプラン④
地元野菜の活用

アクションプラン⑤
餅つきの伝承

アクションプラン⑥
農林産物の販売

アクションプラン⑦
地域特産品の製造・販売



原市場地区



女優・佐藤康恵さん、原市場まちづくり応援大使任命式
地元出身の女優さんと地場産野菜のPR

本地区は、豊かな森林や清らかな河川に恵まれた自然環境を有する飯能市の中央部に位置する地区である。

本地区では、少子高齢化が進み、高齢者世帯などが点在するといった課題や、近年では、有害鳥獣による農作物や生活への被害が課題であるが、自分たちの地域は自分たちで何かしていこうとする気概を持つ風土で、住民活動の活発な地域である。

地域の森林、木材、観光資源、地場産野菜などを生かし、「原市場の森」の整備や「木工教室」「ホタル観賞会」「ジャガイモ販売会」などを行い、地域の活性化に努めている。

活動実績

原市場地区まちづくり推進委員会は、平成10年8月に発足し、アクションプランに基づき、下記の事業を実施してきた。

- ・「四季を感じる歩こう会事業」は、健康づくりを目的に年3回程度のウォーキング事業の実施や、生活の場である地域を見つめ直し、遊歩道の整備などを行っている。
- ・「花のあるまちづくり事業」では、自治会と連携し、通学路や歩道沿いに花木（サツキ）や草花を植え、花を生かした景観作りを展開している。
- ・「蛍の里づくり事業」は、蛍の観賞会や餌となるカワニナの飼育・放流を行っている。また、清流保全への関心づくりや理解の向上に努めている。
- ・「木の文化を伝える事業」では、木のあたたかみや優しさ等、様々な木の特性を生かし、子ども達に伝える「親子木工教室」などを実施している。
- ・「子ども達と原市場を元気にする事業」では、子ども達といっしょに、原市場を元気にするには何が必要か考え実行する事業で、原市場の森を舞台に自然観察会や植樹などを、地域の諸団体と連携して行っている。
- ・「原市場いきいき広場管理事業」は、「子ども達が安心して遊べる広場を」という要望を受け、福祉センターに隣接した土地を整備している。幼児・児童の憩いの場となっている。
- ・「いきいき原市場まつり事業」は、主会場となる原市場中学校が授業として参加するなど、子どもから高齢者まで世代を超えて地域の交流を深め、活性化を図るため、毎年11月に開催している。1500人程の住民参加があり、地区体育祭と並ぶ二大イベントとして定着した。

現状と課題

恵まれた自然環境の中で少子高齢化が進む本地区は、自然・歴史・文化など地域資源を有効に活用し、世代間・地域間を超えてコミュニティ活動の展開を図る。

様々な事業活動を通して地域の魅力を再確認し、地域への愛着と誇りをもって定住できるよう、地域づくりへの意欲の向上を推進する。

このような地域住民主体の活動によりコミュニティの維持・向上を図り、お互いに住みよい活力ある地域づくりを目指す。

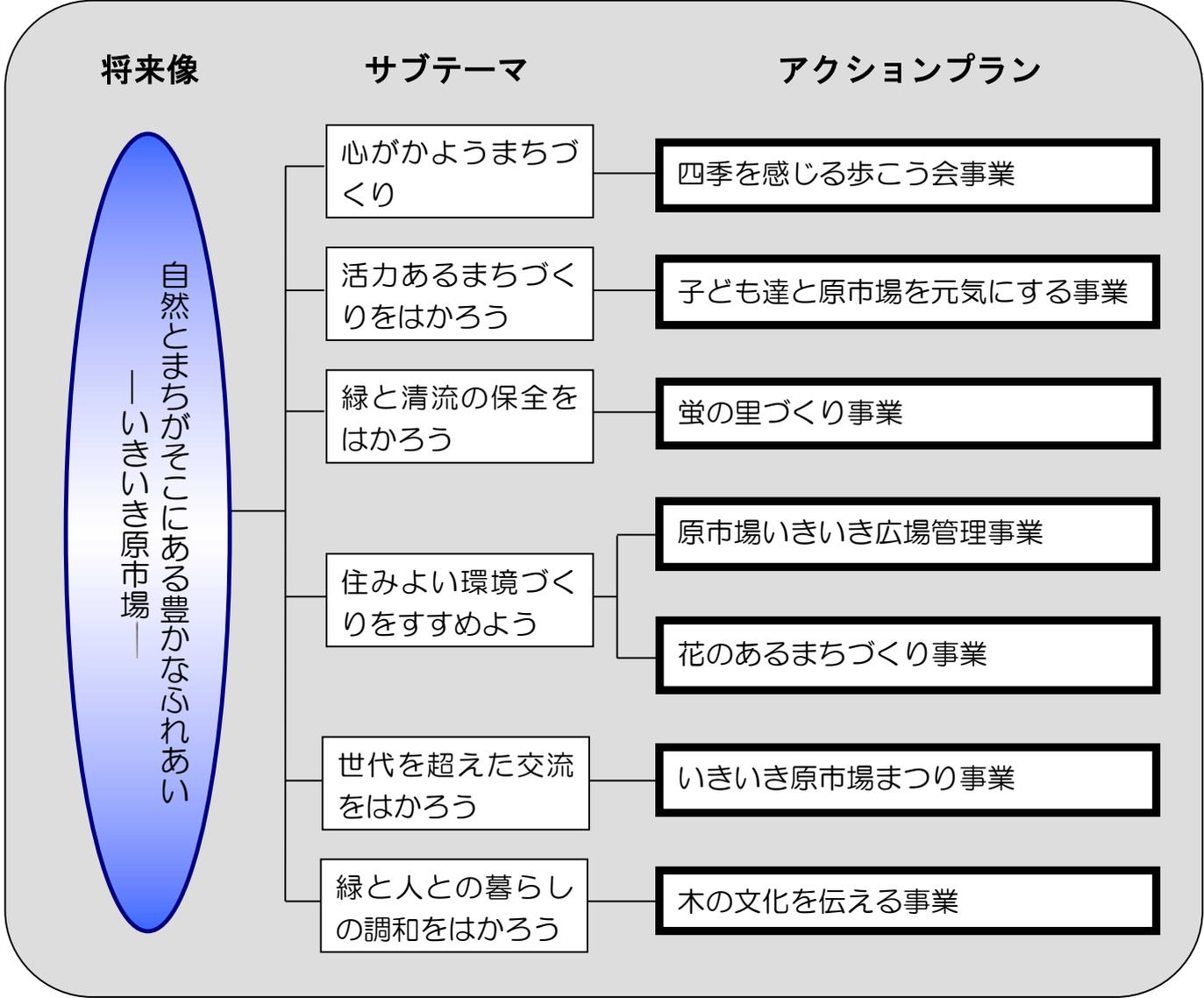
将来像

自然とまちがそこにある豊かなふれあい
—いきいき原市場—

サブテーマ

- | | |
|----------------|-------------------|
| ①心がかようまちづくり | ②活力あるまちづくりをはかろう |
| ③緑と清流の保全をはかろう | ④住みよい環境づくりをすすめよう |
| ⑤世代を超えた交流をはかろう | ⑥緑と人との暮らしの調和をはかろう |

原市場地区協働計画「アクションプラン」



四季を感じる歩こう会で整備したリュウガイ城址



ホタル観賞会

★アクションプラン①「四季を感じる歩こう会事業」

〔目的〕

本地区には四季を感じることのできる散策路がたくさんあることから、多くの方に散策してもらうような環境づくりや、散策を目的とした事業を展開し、健康づくりやコミュニケーションを図りながら、地域の良さを見直す機会とする。

〔取り組み方〕

散策路の整備や歩こう会の事業を実施するだけでなく、史跡や古刹を訪ね、新しい発見をしてもらえるようなコースを選定し、また、新しい散策路を紹介していく。

★アクションプラン②「子ども達と原市場を元気にする事業」

〔目的〕

子ども達と原市場を元気にするためには何が必要かを考え、実行する。
また、子ども達もかかわる諸団体と連携し、地域の絆を深める。

〔取り組み方〕

- ・原市場の森を中心に植樹を行い、定期的に地域で整備を行う。
- ・植樹をとおして、原市場の里山保全を子ども達と実践する。

★アクションプラン③「蛍の里づくり事業」

〔目的〕

原市場にたくさんの蛍が飛び交うよう清流保全を行い、子ども達に蛍の生態について啓発する。

〔取り組み方〕

- ・蛍の鑑賞会を行い、蛍の生育環境への関心を高める。
- ・蛍の鑑賞、育成をとおして、自然環境を守る活動を支援する。

★アクションプラン④「原市場いきいき広場管理事業」

〔目的〕

子ども達が安心して遊べる広場を管理する。

〔取り組み方〕

- ・除草、整地に努める。
- ・子どもの外遊びについて、考える機会とする。



★アクションプラン⑤「花のあるまちづくり事業」

〔目的〕

地域の環境づくりのために、歩道沿いや空き地に草花や花木を活かした景観づくりを行う。

〔取り組み方〕

- ・朝顔の行灯づくりや地域への葉ボタンの植栽など、季節ごとの花を見ることができるよう地域協力を仰ぎ、それぞれの家庭で育成し、地域の行政機関や公共機関に配布する。

★アクションプラン⑥「いきいき原市場まつり事業」

〔目的〕

地域が一体となり参加できるイベントを通して地域の交流を深め、まちづくりへの意欲を向上させ、活性化を図る。

〔取り組み方〕

- ・幼児からお年寄りまで参加できるコミュニティまつりを行う。
- ・時代に合ったイベントの開催方法を考慮し、住民の参加しやすい楽しい催し物を実施する。
- ・広報活動を充実し、住民の参加、来場者の増加を図る。



★アクションプラン⑦「木の文化を伝える事業」

〔目的〕

環境問題を考え、木のあたたかみや優しさ等、様々な木の特性を生かし、子ども達に伝える。

〔取り組み方〕

- ・木の文化を伝えるための事業を展開する。
- ・親子木工教室を開催する。





子ノ権現



権五郎神社



竹寺



リュウガイ城跡

アクションプラン①
四季を感じる歩こう会事業



金錫寺

木造宝冠釈迦如来坐像（市指定）

アクションプラン③
蛭の里づくり事業

原市場地区アクションプランマップ



アクションプラン②

子ども達と原市場を元気にする事業

アクションプラン⑦

木の文化を伝える事業

アクションプラン⑤

花のあるまちづくり事業



西光寺板石塔婆



若山牧水の歌碑



サクラの植樹



アクションプラン④

原市場いきいき広場管理事業

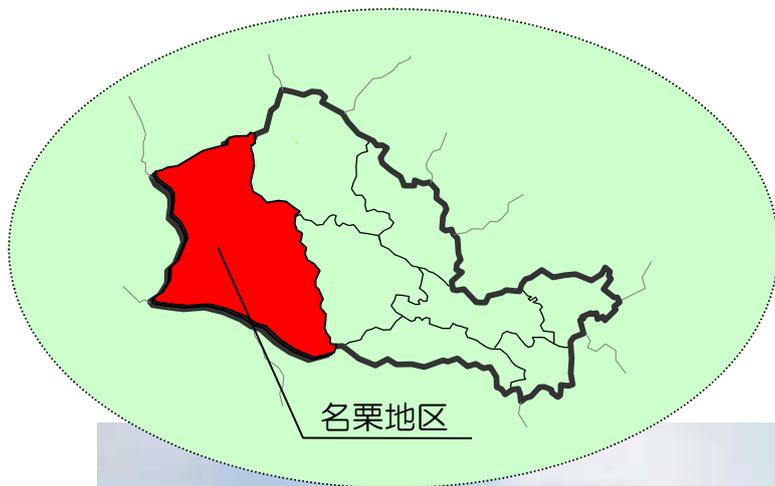
アクションプラン⑥

いきいき原市場まつり事業

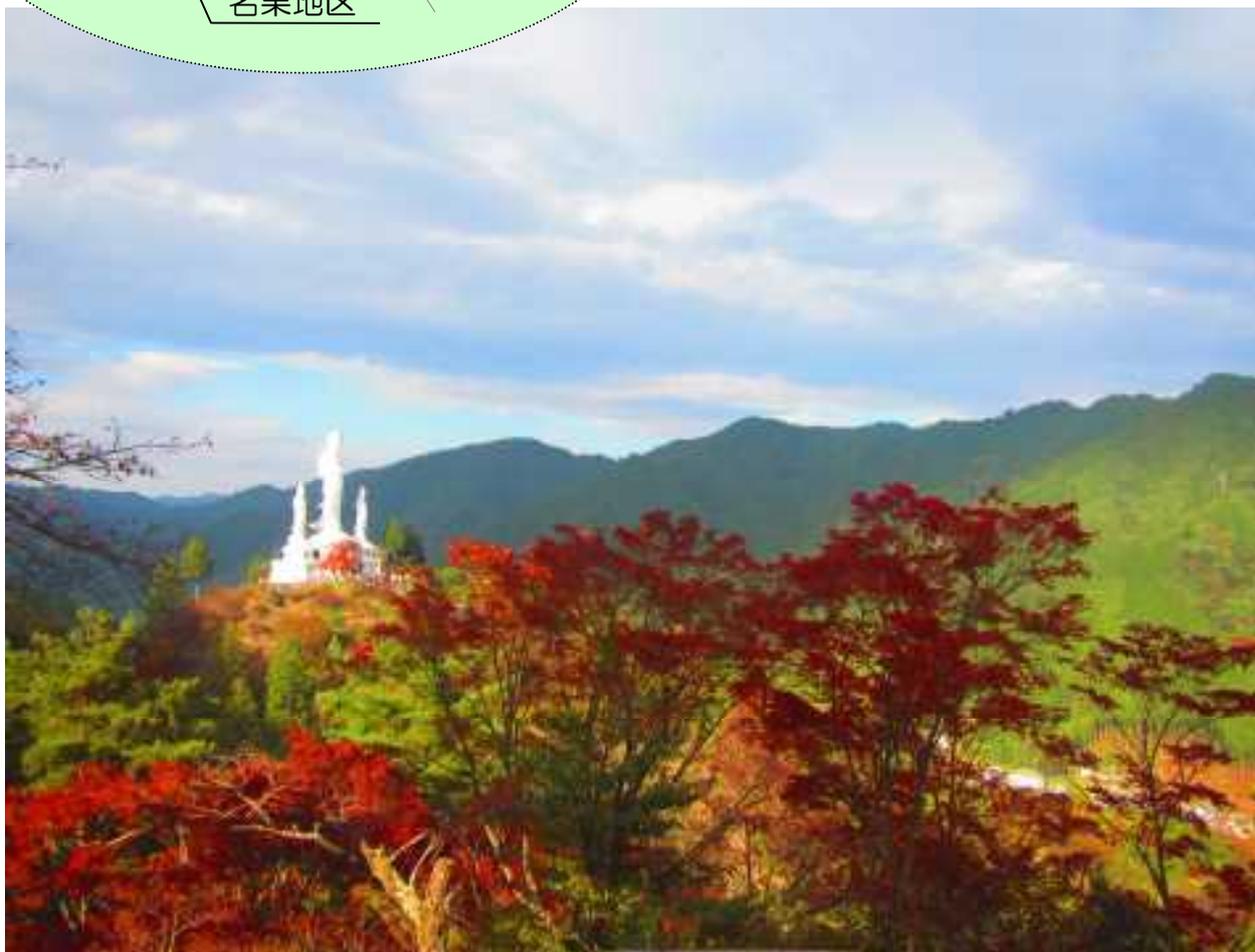


唐竹白鬚神社（県指定）





名栗地区



紅葉の鳥居観音

飯能市の西部に位置する名栗地区は、全域が県立奥武蔵自然公園に指定され、地区の97%がスギ、ヒノキの山林という緑豊かな自然と清流に囲まれた「自然の美術館」である。

近年、そうした自然と景観を求めハイキングやキャンプ、川遊びやサイクリングなど観光を目的とした来訪者も多く、年間を通じて賑わいを見せている。

活動実績

名栗地区まちづくり推進委員会は平成22年1月に発足し、これまでアクションプランに基づき、各事業部により活動を進めてきた。

- ・里山活性化事業は、自生する竹を伐採・加工して杖を作成し、ハイキングコースへの設置や補充、ハイキングコースの最寄りバス停に西川材を使ったベンチの設置、補修を行った。

また、自然環境を利用してカブトムシを育て、地区のイベントで子ども達に配布した。

- ・ホタルの里づくり事業は、ホタルの餌となるカワニナの放流によりホタルが名栗地区全域に増え、ホタル観賞会などイベント実施につながっている。また、水生生物の観察や保護は、青少年健全育成の会、わくわく名栗クラブなど地域の団体も取り組んでいる。
- ・景観整備事業は、会員と地域住民が協力し、地区内河川の清掃作業（川ぐるみ、篠の伐採、ごみ等の清掃）や幹線道路沿いの樹木管理などを継続的に実施している。
- ・イベント事業は、地区内で開催される観光イベント等に協力し、交流人口の増加を図った。

現状と課題

山間地域で特に顕著である少子高齢化と人口減少は、まちづくり推進委員会の活動に限らず、地域全体のコミュニティづくりや他の活動団体の存続にも影響している。また、公共交通機関の存続・維持に向けた取り組みも最重要課題となっている。

そのような中で、各事業を継続して実施していくため、新たな会員の確保や合理的な役割分担、新たな視点による取り組みの検討など、魅力的な事業を展開していくことが必要である。

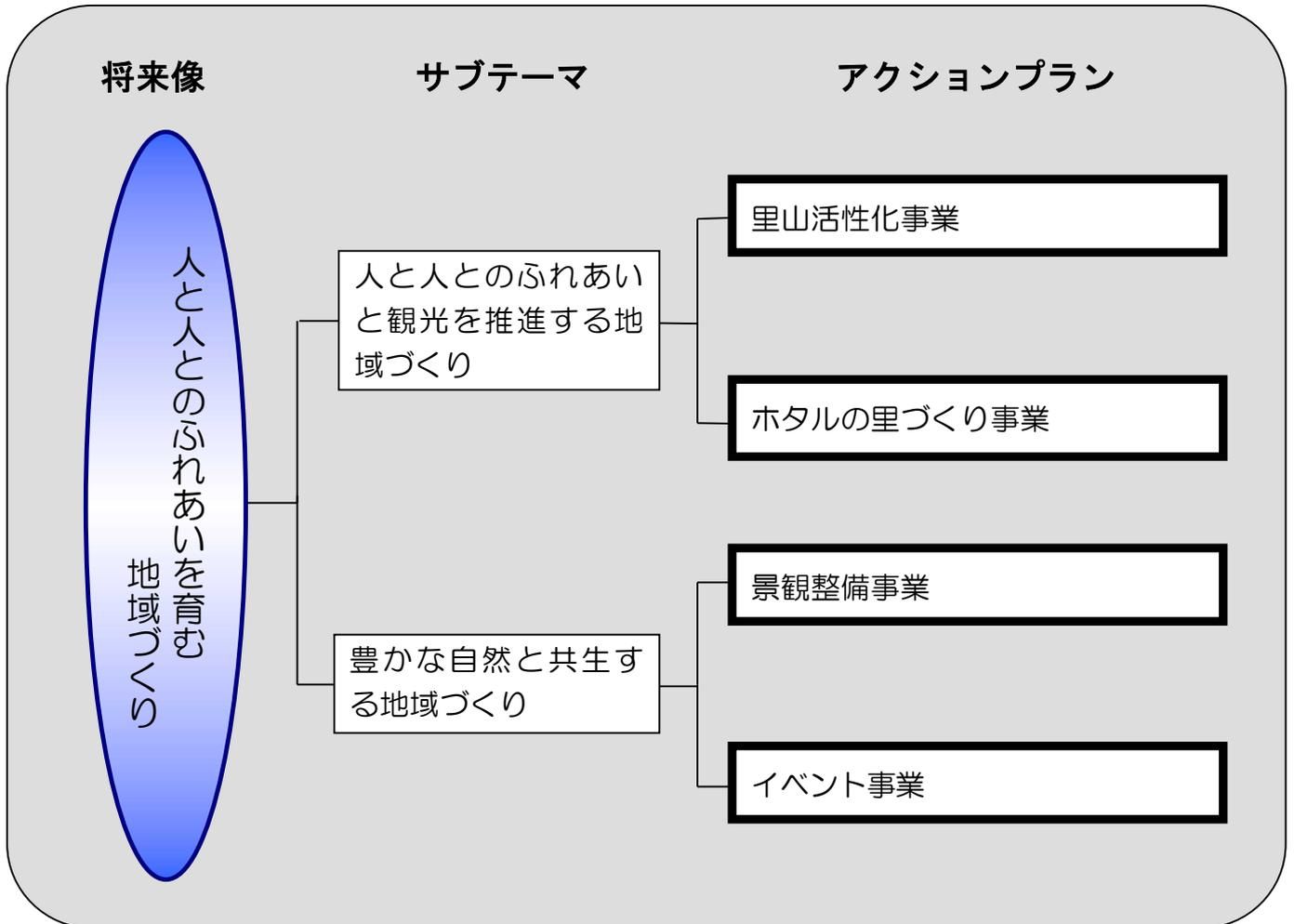
将来像

人と人とのふれあいを育む地域づくり

サブテーマ

- 人と人とのふれあいと観光を推進する地域づくり
- 豊かな自然と共生する地域づくり

名栗地区協働計画「アクションプラン」



名栗湖畔より棒ノ嶺方面を望む

★アクションプラン①「里山活性化事業」

〔目的〕

地元西川材を観光資源として利活用することで、地域資源を見直し、木の持つあたたかさなどをPRする。また、事業参加者同士のコミュニケーションを生み出す。

〔取り組み方〕

- ・ 自生する竹を伐採・加工して杖を作製、ハイキングコース登山口へ杖を設置。併せて点検補充を実施
- ・ ウオーキングコースの最寄りバス停に西川材ベンチを設置。補修も実施
- ・ 自然環境の中でカブトムシを育て、地域イベントなどで子ども達に配布

西川材のベンチづくり→



★アクションプラン②「ホタルの里づくり事業」

〔目的〕

入間川の最上流部である河川的环境保全に取り組むことで、ホタルの舞う清らかな水と、多様な生物を育む自然環境をつくり、地域の方が協力し合って維持していく。

〔取り組み方〕

- ・ ホタルの餌になるカワニナの放流、育成
- ・ 清流の環境保全のための清掃活動
- ・ ホタル観賞イベントへの協力
- ・ 水生生物の保護や観察
- ・ 幼稚園児、小学生、中学生やその保護者の事業への参加協力



ホタルが飛び交う名栗の清流

★アクションプラン③「景観整備事業」

〔目的〕

奥武蔵の山々や入間川の清流、ダム湖などの豊かな自然や、寺社仏閣など歴史的資源の良さを引き立たせるよう沿道や河川など周辺の景観整備を行う。地域に住みやすさを感じ、住んで良かったと思える環境を作り出すことで、併せて観光事業や交流人口の増加へもつなげていく。

〔取り組み方〕

- ・整備場所の選定と年間の作業計画の作成
- ・会員及び地域住民への作業協力依頼
- ・沿道や河川沿いのごみ拾いや除草、花木の植栽、維持管理

河川敷での景観整備作業
(下名栗地内) →



★アクションプラン④「イベント事業」

〔目的〕

地区内では年間を通して様々なイベント事業が行われている。地区の住民が参加し、相互にふれあい、地域に愛着を持てるよう働きかける。

〔取り組み方〕

- ・子どもから高齢者までが参加し、世代間交流できるよう各種イベントに協力
- ・地域活動団体相互の連携、協力の呼びかけ
- ・地域住民への事業 PR として会報の発行



名栗ふるさとまつりの様子



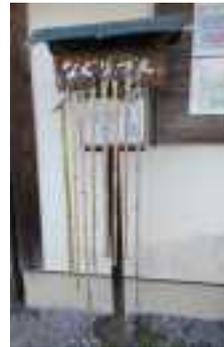
埼玉県立名栗げんきプラザ ●



入間川（名栗川）

松木の観音堂 ●

檜渕諏訪神社 ●



なぐり杖設置場所



景観整備作業

アクションプラン④
イベント事業



棒ノ嶺山頂

アクションプラン③
景観整備事業

名栗地区アクションプランマップ



なぐり杖の設置場所

星宮神社

名栗地区

行政センター

さわらびの湯

名栗カヌー工房

有間溪谷観光釣り場

アクションプラン②
ホタルの里づくり事業

下名栗諏訪神社



景観整備作業



水生生物観察会



ノーラ名栗

名栗地区の観光拠点として、豊かな自然の中で、サウナテントやバーベキュー、グランピングなど北欧文化が体験できます。また、ステージを活用したイベントも開催されます。



名栗川橋

アクションプラン①
里山活性化事業

景観整備エリア
(全 域)

編集発行 令和4年4月
各地区まちづくり推進委員会
飯能市市民生活部市民協働推進課
問い合わせ先 飯能市市民生活部市民協働推進課
TEL 042-973-2626
FAX 042-974-6737
E-mail jiti@city.hanno.lg.jp
